

視覚に障害のある0～5歳のお子様とおうちの方を支援します。

「ひまわり教室」



早期の支援が子ども達の世界を広げます！
お気軽にご相談ください

高知県立盲学校地域支援・相談室

こんな心配はないですか！？

見えているかどうかわからない・・・。

生まれたとき、医療機関で眼の障害や病気があるといわれた。

何だかとっても近づいて見るんだけど・・・。

よくつまずいたり、ものにぶつかったりするなあ。



ひまわり教室は、小さな悩みでも気軽に相談したり、必要な情報を得たりできるように、また、お子さんの状態に応じた楽しい遊びを親子で体験し、ほっとする温かいひとときを過ごせるように・・・というねらいをもった教室です。

ひまわり教室のあそびは、自分のこと、身の回りのことをわかりやすく楽しみながら伝え、外の世界の魅力をたっぷり手渡せるようなメニューになっています。さらに、保育園や幼稚園、小学校へのスムーズな橋渡しができるよう、お子さんの担任の先生方に眼のことや配慮事項についてお伝えする訪問支援等も提案させていただいております。

お子さんの眼のことや見え方のこと、また、あわせて生活の中での疑問や心配ごと、困りごとがあるお父さん、お母さん、保育園や幼稚園の先生方、どうぞお気軽にご相談ください。

「ひまわり教室」は、わが子の眼の見え方のことで不安があるお父さんお母さんのための子育て支援の場でもあります。

※相談内容は厳守しますので、他に漏れることはありません。

見えにくい・見えないということは・・・



私たちは様々な情報の約8～9割を、目から取りこんでいます。そのため、その情報が十分に入らないことにより、歩行やコミュニケーション、身辺処理等の活動制限と社会生活における参加の制約がでてきます。

幼い頃は、周囲の様子を見ながら自然と成長することも多くあるので、正しく教えてあげなければできるようにならないこともあります。また、全盲児の場合は、状況を捉えることがさらに困難であるため、新しい事柄に対して抵抗があります。眼の代わりに手から情報を取りこむことが必要ですが、触ることを嫌がることがあります。

早期教育の必要性

視力の発達は、生後間もない時は、0.02～0.03 程度ですが、4・5歳くらいまでに発達していきます。6歳頃には、視力が安定して1.0になります。また、その後ほぼ8歳で大人のレベルに達するといわれています。乳幼児期に見えていないだろうといわれていた子どもでも、見ることへのアプローチをすることで、ある程度見えるようになるケースがあります。また、ぼやけた見え方が普通の状態になると、脳もそれに慣れてしまいます。早期に対応することでこれらが改善してきます。また、目からの情報に代わる手段として、触って確かめる探索活動の経験の積み重ねも後々の生活や学習の基盤になります。子どもが大きく発達するこの時期に、これらの関わりがとても重要になってきます。



ひまわり教室の内容

- ★おはよう： あいさつ、名前、歌
- ★音楽リズム： 季節の歌、手遊び
- ★体を動かそう： リトミック、サーキット、
外気浴
- ★やってみよう： 触って確かめる、じっくり見る、
手指のいろいろな使い方
豊かなイメージづくり
- ★季節・行事のあそび体験： プール、芋掘り、クリスマス他
- ★子育て、福祉に関する情報提供や相談、交流タイム



◆ひまわり教室

<0~3歳>

毎月第1・2・3水曜日

10:00~11:00

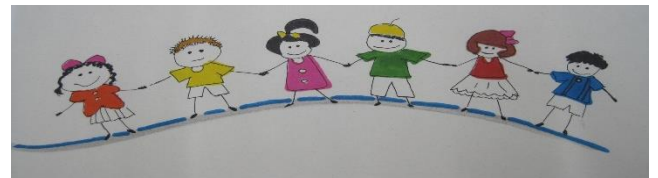
盲学校ひまわり教室（106教室）

<4~5歳>

毎月第4水曜日

10:00~11:00

盲学校ひまわり教室（106教室）



※「ひまわり教室の見学や参加はいつでもできます。ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。なお、開催のない場合がありますので、事前にご確認ください。

◆個別相談

随時行っています。事前にご予約下さい。
お子さんの眼のことや見え方のこと、また、あわせて生活の中での疑問や心配ごと、困りごとがあるお父さん、お母さん、保育園や幼稚園の先生方、お気軽にどうぞご相談ください。

◆就学前個別相談

随時行っています。事前にご予約下さい。
小学校入学を控えたお子さんの学習環境づくりを支援します。

【内容】見えづらさへの対応、視覚補助具や文房具の使い方や練習、学校生活への準備についての相談等。